

# 旭高原の自然

愛知県旭高原少年自然の家 今井隆  
(愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部所属)

自然の家は、愛知高原国定公園の中にあり、標高 620m の位置にあります。冬の最低気温は氷点下になる時もありますが、雪が冬中積もっている所ではありません。夏の最高気温は 30 度を超えることもあります。まず、植物は、**コナラ・アベマキ**群落、**アカマツ**群落、**ヒノキ**植林等があります。春先は**タラノメ**、**コシアブラ**、**ワラビ**、**ゼンマイ**等の山菜がとれ、「山菜を探そう」という主催事業を親子対象に行っています。この頃は、ピンク色の**ミツバツツジ**、紫色の**フジ**の花、黄色の**ヤマブキ**、白い**ウツギ**の花と花の色が移り変わります。そして、6月下旬頃には、蛍を入れて遊んだと言われる釣り鐘状の**ホタルブクロ**、橙色の**ノカンゾウ**があり、そして、旭高原の花である葉が笹のような**ササユリ**が咲き美しいです。7月頃に目に付いた樹木は、白い花をつけた**リョウブ**、白い葉のある**マタタビ**が、そして、**ヤマアジサイ**に似た**ノリウツギ**が緑の中でまさしく輝くように花を咲かせます。自然の家の敷地内には、**ケヤキ**、**ハナミズキ**、**ナナカマド**、**イロハモミジ**等があります。名古屋の街路樹の**ケヤキ**が緑一面に輝いていた頃、自然の家の**ケヤキ**はまだこれからという状態でした。そして、9月には**ケヤキ**を始め自然の家に植えてある**イロハモミジ**、**ハナミズキ**等の紅葉が始まり、一部の**ナナカマド**は9月中旬で真っ赤になっていました。**ナナカマド**の実は果実酒に出来ると聞いていたので、思わず取って食べてしまいましたが……。

鳥は少し名古屋と違いのものもいます。巣箱にも遊びにくる**シジュウカラ**、**メタセコイヤ**のてっぺんでよく鳴く**ホオジロ**を始め、道を夫婦で歩いていた**キジ**、夏でも鳴いている**アオゲラ**、本当は茶褐色の**ウグイス**、グイーとわかりやすく鳴く**センダイムシクイ**等があります。7月頃には、夏鳥の**ホトトギス**がいたるところで鳴き、キョロイキョロイと軽やかに鳴く**クロツグミ**、旭高原で一番姿鳴き声ともにきれいな**オオルリ**の鳴き声も聞くことができます。**オオルリ**は4月下旬頃には確認していて、おおよそ決った所で鳴くので、「今日はいるかー」と通勤時に確認したりしています。自然の家に向かって林道を登って行くと、道にいる**キセキレイ**や**ホオジロ**等が逃げます。しかし、両側が林のため、道沿いに飛んで逃げます。鳥にしてみれば、一生懸命逃げているのですが、客観的に見ると、まるで車を道案内しているように見えるのはおもしろいです。**セグロセキレイ**や**キセキレイ**は自然の家の玄関前にも時々やってきて、うるさく鳴くこともあります。

いわゆる朝のつどいでは、とかくつまらないものにならぬよう、ネイチャーゲームの「動物あて」（簡単に言えば動物の特徴をひとつひとつ言ってその動物をあてる）を行っています。自然の家でみられる動物として、**キツツキ**を取り上げ、最後に以外と知られていない鳴声（キョッキョッ、ピューピュー）のテープも聞いてもらっています。利用者アンケートでは、とても好評をいただき、「鳴声を聞いたよ！」と子供たちに言われると、とてもうれしくなります。このせいかどうか知りませんが、**アオゲラ**は最近よく自然の家付近で鳴くのを聞くようになりました。

秋には**マツタケ**、**ショウゲンジ**、**ハツタケ**等のきのこが取れ、きのこを探す主催事業も行っています。また、紅葉がとても綺麗になると聞いていますので、とても楽しみです。自然の家の10月から3月は、利用団体が非常に少なくなる閑散期になります。しかし、自然観察にはこの季節も良いと思います。時間があれば、また秋冬の自然の家もお伝えしたいと思います。

## 旭高原の自然・その2

愛知県旭高原少年自然の家 今井隆  
(愛知県自然観察指導員連絡協議会名古屋支部所属)

愛知県旭高原少年自然の家は岐阜県境の東加茂郡旭町にあり標高は 620m です。本稿は平成 14 年 1 月発行の『協議会ニュース』80 号掲載分の続編(秋冬版)という形になります。

ウツギ属ではなくアジサイ属の白い**ノリウツギ**の最盛期が過ぎ、夏鳥の青い**オオルリ**や**ホトトギス**の鳴声が聞かなくなる 9 月頃、道端には**オトコエシ**が目立ち始めます。秋の七草の黄色い**オミナエシ**はあまり見られません。つる性の赤い花の**クズ**や白い花の**ボタンズル**が咲き、秋の七草であまり見られなくなった**フジバカマ**もある所にあり、色々な蝶が止まります。同時にピンク色の**ヤマハギ**が道添いにしだれるように咲き楽しませてくれます。10 月になると、**ササユリ**が咲いていたあたりに葉がスパード型の**シラヤマギク**が咲き、ギザギザ葉の**ユウガギク**や葉の基部が耳型で黄色花の**ヤクシソウ**が見られます。外来種の**セイタカアワダチソウ**は旭高原にもあり強い繁殖力です。

秋は紅葉の季節で、赤い**イロハモミジ**は遠くからでも目立ちます。ただ、人工林も多く**ヒノキ**や**スギ**の緑色と紅葉の赤と黄のコントラストの方が目立つと言う方がいいかもしれません。人工林はご存知のように外国の安い輸入材に押され、十分に手入れされているとは言えません。ドングリは**コナラ**が一番多く、**アベマキ**、**アラカシ**等があります。しかし、実のなり方は名古屋より劣ります。名古屋の猪高緑地や平和公園等の**アベマキ**は、真ん丸く大きいものがたくさん落ちていますが、旭高原はそれよりやや小さめで数も少なく、敷地内にある**アラカシ**のドングリは特に少ないです。

旭高原では色々な動物達と出会います。よく親子でいて道を横切る**イノシシ**、走っても耳でわかる**ノウサギ**、矢作ダム辺りで夜に出会う**ニホンイタチ**などです。**リス**は松ボックリにある種子を食べます。その食べ跡がエビフライに似ているので、その食べ残しの芯を「リスのエビフライ」とよく言います。まず、それを探して**リス**のいる場所に検討をつけます。また、**リス**は地面を走っている所をイメージしますが、多くは木の上にいるのです。よって、「リスのエビフライ」を見つけたら、静かに耳を澄まします。もし、どこからか葉に何か落ちていたような「ポト…ポト…」という音が聞こえたら、ゆっくりその方に近づいて行き木のずーと上の方を見てください。**リス**が松ボックリの種を食べ、破片をポトポト落としているのです。私は顔に破片があたりながら真上の**リス**を観察したことがあります。首が上に向かいっぱなしで痛くなりますが…。**リス**が鳴いたんですよ！、走りながら。**サル**と**コゲラ**を混ぜたような泣き声です。

また、隣の元気村の裏道には皮が剥がれたような**リョウブ**の木を時々見かけます。これは、**ニホンジカ**の食跡と思われます。元気村の牧草地におそらく冬は餌が少なくなるので現れ、多いと 20 匹ぐらいになります。シカは私の姿を見つけると、全員がこちらを向きます。そして、しばらくすると「俺達に害を与えないんだー」と思われ(?)、また牧草を食べ始めます。私がまた動くときまた一斉にこちらを向き…と「だるまさん転んだ」状態になるのは面白いです。また、ある日の夕方、車を走っていたら、1 匹のメスがゆっくり横切りました。停車してしばらく見ていると、バックミラーに何か大きなものが見えたのです。振り返ると、大きな角のオスの**ニホンジカ**が車のすぐ後ろを通っていたのです。結局のところ、私はデートの邪魔をしたようですね…。**ニホンジカ**が見られるようになると「冬が来たんだ…」、見られなくなると「春になったんだ…」とシカで季節がわかるというのが旭高原です。雪が降った後はフィールドサイン(足跡)を探します。自然の家に**リス**、**ウサ**

**ギ、シカ**等の動物が通っているのがわかり、なぜか下るほど足跡は少なくなります。偶然でしょうか？。

鳥は冬になるとすこし変化が現れます。アヒルのような**カケス**の鳴き声が聞こえ、ベッカム頭の**カシラダカ**、口笛のように鳴く**ウソ**、そして、集団になるオレンジ色の**アトリ**、暗い林を好む**クロジ**や**シロハラ**もこの冬に確認出来ました。また、餌台を作り、しばらくは何も来ませんでした。今では**シジュウカラ**、**ヤマガラ**、**メジロ**は常連で、**カケス**が時々現れ始めています。**ヒヨドリ**は非常に用心深くなかなか手を出しませんが、最近、他の鳥を追い出そうとしているようで、今後の対策を検討中です。2月下旬頃には**アオゲラ**の「ピューピュー」という初鳴きを聞き、3月になると**ホオジロ**、**シジュウカラ**、**ヤマガラ**、そして**ウグイス**等の繁殖期の鳴き声が聞こえます。また、3月中旬には旭町役場付近に**ツバメ**が渡来し、鳥たちは子育ての時期に入ります。

ある自然案内人が「鳥と図鑑が一致しない時は鳥の方を信じる」と言いました。私も似たような姿勢で、旭高原にいるという鳥たちをあげているものがあります。しかし、私の目か耳で確認できた鳥のみをロビーで紹介していますし植物も同様です。また、たとえ本には書いていないことであっても、ここが旭高原の自然ですから…。これが自然のおもしろい所ですね……。

(旭高原少年自然の家ネイチャーワールド <http://www2.odn.ne.jp/aao78440/asahikougen>)

\*本稿は愛知県自然観察指導員連絡協議会発行『協議会ニュース』において平成14年1月と平成15年3月の掲載文に加筆訂正したものです。